

【技術の名称】 3Q ダイアキャストを用いた 3Q-Wall 工法(改定 1)	性能証明番号：GBRC 性能証明 第17-03号 改1 性能証明発効日：2022年2月21日
	【取得者】 株式会社大林組

【技術の概要】

本技術「3Q ダイアキャストを用いた 3Q-Wall 工法」は、
鋳鉄製の四角形および三角形の中空ブロック（名称：3Q
ダイアキャスト、以下、鋳鉄ブロックと称する）を用い
た耐震補強工法である。本工法の特徴は、ガイドスチ
ールと称する鋼製枠を既存骨組柱、梁の内側各辺にエポキ
シ樹脂を用いて接着接合するか、またはそれに加えてあ
と施工アンカーを打設して両者を接合し、ガイドスチ
ールに沿って鋳鉄ブロックを組積する点である。

【改定の内容】

新規：GBRC 性能証明 第17-03号（2017年6月27日）
改定1：GBRC 性能証明 第17-03号 改1（2022年2月21日）

- ・技術の名称の内「鋳鉄製ブロック」を「3Q ダイアキャスト」という呼称に変更
- ・ブロック壁の組積段数の上限値を7段(約2.8m)から10段(約4.0m)に変更
- ・鋳鋼ブロックの品質管理に、幅1cmを超える研磨跡が生じた場合の処置を追記
- ・ブロック同士の嵌合部に関する公差について、数値間の矛盾を修正

【技術開発の趣旨】

従来の増設耐震壁の補強工事では、多数本のと施工アンカーの施工に伴う騒音、振動や施工性など、工事に際して種々の問題が発生する。本技術は、これらの問題の解消または軽減を意図して開発されたものである。また、意匠性を向上し、採光、通風が得られる増設補強壁とすることを目的としている。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。
申込者提案の「3Q ダイアキャストを用いた 3Q-Wall 工法 - 設計施工要領書」に基づき設計・施工された増設耐震壁は、設計要領書で提示している終局耐力および変形性能（耐震診断において用いる靱性指標 F 値）を有する。



写真1 3Q ダイアキャストを用いた 3Q-Wall

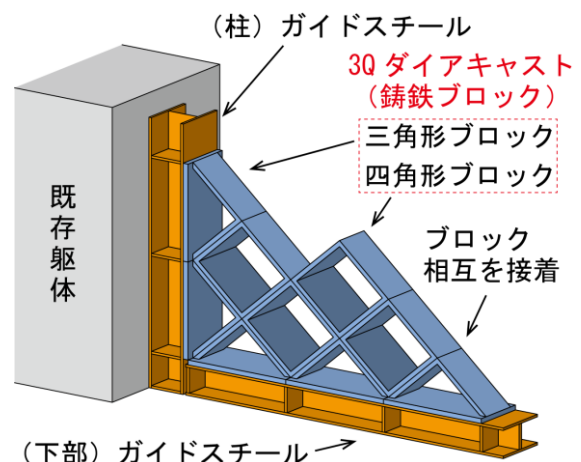


図1 工法の概要

【本技術の問合せ先】

株式会社大林組 担当者：穴吹 拓也
〒204-8558 東京都清瀬市下清戸 4-640

E-mail：anabuki.takuya@obayashi.co.jp
TEL：042-495-1037 FAX：042-495-0904